

縮小社会研究会 第 68 回研究会



日時：2022年11月9日（水） 19:00～20:30、オンライン開催（Zoom）

便利で快適な世の中である。ネットで注文すると宅急便で翌日に届く、空調で年中同じ服装で過ごせる、冷凍食品とインスタント食品で調理は不要である、……。一方、街はコンクリートとアスファルトで埋め尽くされ、人や自転車は道の端に追いやられ、食べ物は化学肥料、農薬や抗生物質で育てられている。すべて、化石燃料に依存しているが、その高騰や枯渇で、すぐに崩壊する脆弱な社会である。また、化石燃料の燃焼は二酸化炭素を排出し、地球温暖化につながる。化石燃料の消費の早急で大幅な削減が必要で、それには高速、大量生産、大量廃棄という社会構造を変えねばならない。自然を活かしたレジリエントな社会が必要である。

明治神宮外苑を未来へ手わたすために

講師：森まゆみさん（作家）

講演要旨： 私は 2020 年オリンピックは当時の国立競技場の改修でいいとおもっていた。しかし運動の中で、オリンピックは IOC 貴族と建設、土木、観光業者が潤うだけのオワコンだと気づいて反対する立場に立った。そのツケは大きい。のみならず、今回のオリンピックは都心に残った未開発の「聖地」神宮外苑地区の再開発が目玉だったらしい。神宮外苑は「創建の趣旨」というものをもっている。「国民の優遊」がそれだ。国土の 70% が森林のこの国で、東京の緑はどんどん減っていく。超高層の東京ウォールのせいで海風は都心に入らなくなり、公園の木を切れば木陰もへり、木が空気を冷やす効果も減る。気候変動のいま、コンクリートジャングル都心の風致地区の高さ制限をはずし、超高層ビルを並べることの愚かしさについて、語りたい。



森まゆみさんの略歴： 早稲田大学政治経済学部卒業、東京大学新聞研究所（現・東京大学大学院情報学環教育部）修了。上野奏楽堂、旧岩崎邸、上野不忍池、安田邸などを保存する市民運動に関わり、2013 年から「神宮外苑と国立競技場を未来へてわたす会」共同代表。地域雑誌「谷中・根津・千駄木」を創刊。著書に「東京遺産」「子規の音」「鷗外の坂」など多数。そのうちの一つに「楽しい縮小社会・「小さな日本」でいいじゃないか」がある。

zoom の URL: <https://us02web.zoom.us/j/84016144814?pwd=STZhTk5EVnNVak9iWmhlb2MvWDD6QT09>
ミーティング ID: 840 1614 4814、 パスコード: 619184

参加費：無料、寄付は歓迎します。

参加登録：会員は不要。非会員の方は松久 (h.matsuhisa@shukusho.org) まで連絡願います。